ShowNet Information 目次

はじめに P3-2

ShowNet利用ガイド P3-3

A) 利用するShowNetのサービスを決める P3-4
B) 申し込みをする/権利放棄をする P3-10
C) IPアドレスなどの情報を入手する
接続情報を元にした各種登録を行う P3-21
D) 機器やデモを準備して接続する P3-27

ShowNetテクニカルマニュアル P3-31

E) 接続メディアの詳細 P3-32
F) ShowNetのセキュリティ仕様 P3-36
G) プロトコル、IPアドレスなどの詳細 P3-39
H) その他の注意事項 P3-42

付録 P3-44

I) ShowNetとは？ P3-45
J) 価格表 P3-46
K) よくあるお問い合わせ P3-48
L) お問い合わせ先 P3-49

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

はじめに
ShowNetをつかってより効果的なデモを！

この度は、Interop Tokyo 2009にご出展いただきまして誠に有り難うございます。

さて、本イベント「Interop Tokyo」は、会場内に巨大なネットワークを構築するプロジェクト「ShowNet」を行っています。このネットワークへの接続性はInterop Tokyoのすべての出展ブースに無償で提供されますので、貴社の展示ブースを是非このShowNetを通してインターネットに接続してください。このShowNetでつながった出展社の総体がInterop Tokyoであり、イベント全体が巨大な動的デモンストレーションとなっているのです。

このShowNetを活用した展示を行うことで、デモンストレーションの具体性や現実感を高め、訴求力をさらに向上させることができます。

この冊子「ShowNet Information」は、ShowNetのプロジェクトのうち、出展社がブースで利用可能なネットワークサービスの概要とその接続方法を明確にし、ネットワーク接続をよりスムーズかつ確実に行うための説明を記載しています。各出展社の技術担当者の方にも一読いただき、必要手順に従って、各申し込みを行っていただきますようお願いいたします。

ShowNetは、多数の出展社が最新の機器やサービスを持ち寄り、それらを接続することで実現しています。ShowNetの構築に参加するためのプログラムについては、次章P4-1からの「ShowNet Sponsorship Program」を参照してください。

なお、ShowNet構築に参加、もしくはShowNetを利用した最も注目に値するデモンストレーションを行った出展社には、「Best of Show Award」～ShowNetデモンストレーション部門～ が贈られます。

ShowNetを効果的に利用する方法については、事務局でも随時ご相談を受付けています。接続についてわからないことや効果的な使い方など、本章の最後に記載の問い合わせ先までお気軽にご相談ください。

各出展社がこれらのShowNetプロジェクトで利用できるサービスを積極的にご利用することで、Interop Tokyoへの出展がより効果的なものとなりましたら幸いです。

2009年3月 吉日
Interop Tokyo 2009　運営事務局

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

ShowNet 利用ガイド

この「ShowNet 利用ガイド」では、ShowNetの利用に必要なお手続きと、運営上の注意事項について説明しています。主に出展担当の方にお読みいただき、お手続きを進めてください。

なお、ShowNetでは、「利用しない場合」でもお手続きが必要です。本ガイドにそってお手続きをお願いいたします。

また、ShowNetの技術的な詳細については、P3-31からの「ShowNetテクニカルマニュアル」を参照してください。

ShowNet利用の手順

A 利用するShowNetのサービスを決める 【4月22日まで】

B 申し込みをする/権利放棄をする 【4月22日まで】

C IPアドレスなどの情報を入手する 【5月21日以降】
接続情報を元にした各種登録を行う 【5月29日まで】

D 機器やデモを準備して接続する 【準備から撤去まで】

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

A 利用するShowNetのサービスを決める 【4月22日まで】

サービスの種類と前提

1.出展形態を確認する → A-1

2.サービスの種類を確認する → A-2

3.ShowNet特別企画について → A-3

A-1 出展形態を確認する

ShowNetのサービスはInteropへの参加形態によって異なります。まずは自社の出展形態を確認してください。

通常小間出展の場合

通常出展の場合には無料と有料のサービスをすべて選択いただけます。また、ShowNetの接続権利を放棄する場合にもお手続きが必要です。

1. **ShowNetを通してインターネットに接続する。**
2. **他のブースと独立したケーブルで接続する。**
3. **ShowNetの接続権利を放棄する。**

パビリオンなどの主催者企画に出展の場合

パビリオンなど主催者企画コーナーへのご出展の場合は、標準的なインターネット接続可能な接続（100・1000Base-T、グローバルIPv4 DHCP,IPv6 RA※）を提供します。
このため、パビリオンにご出展の場合は、接続の申し込み手続きは不要です。P3-27の D に進んでください。
固定のグローバルIPv4アドレスが必要な場合などには別途お問い合わせください。
（お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp）
※RA:Router Advertisemest

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

A-2 サービスの種類を確認する

標準のサービス

それぞれのサービスの技術的な詳細については、P3-31以降の「ShowNetテクニカルマニュアル」を参照してください。

簡易申し込みパッケージ

申し込み時に簡易申し込みを行うと、以降でご紹介する標準のサービスについて、個別に選択することなく、以下のような標準的なインターネット接続パッケージの手続きが完了します。
一般的なWebサイトの閲覧や、Eメールの送受信などのインターネット接続のみを行う場合にはこちらをお使いください。

1. **標準ドロップ：100/1000Base-T（UTPカテゴリー5e / 端点RJ45コネクタ）**
2. **標準ドロップのIPアドレス：DHCP（グローバルIPv4）、RA（IPv6）**
3. **追加サブネット：なし**
4. **追加ドロップ：なし**
5. **ブース間接続：なし**

標準ドロップ（接続ケーブル）　1本

ShowNetに接続するケーブル（ドロップ）は以下の3種類のメディアタイプから選択できます。(※1)

1. **100/1000Base-T（※2）**
2. **1000Base-SX**
3. **10GBase-LR（※2）**

※1：パビリオンなどにご出展の場合には選択できません。1番のみの提供となります。
※2：接続距離などの技術的制約により、ご希望に添えない場合があります。
※コネクター形状などの詳細はP3-34以降を参照してください。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

標準ドロップに対するIPアドレス

1本のドロップにつき、標準で以下の3種類から選択したIPアドレスが利用できます。

1. 2010タイプ1:IPv6 /64 RA ＋ プライベート IPv4 /24 DHCP （※1）
2. 2010タイプ2:IPv6 /64 RAのみ(※1)
3. レガシータイプ1:IPv6 /64 RA ＋ グローバル IPv4 /24 DHCP （※2）
4. レガシータイプ2:IPv6 /64 RA ＋ グローバル IPv4 /24 Static （※3）

※1：**このIPアドレスタイプはIPv4アドレス枯渇とIPv6移行に向けたトライアル企画の一貫となっています。**
このIPアドレスを選択すると特典があります。詳細はP3-9を参照してください。
※2：IPv4 DHCPを選んだ場合の割り当て範囲の詳細はP3-41を参照してください。
※3：必要な場合にはこの単位で、追加のサブネットをお申し込みいただけます。

追加のサービス

以下のサービスは追加でお申し込みいただけるサービスです。それぞれのサービスの技術的な詳細については、P3-31以降の「ShowNetテクニカルマニュアル」を参照してください。有料サービスの料金はP3-46以降の料金表を参照してください。

擬似攻撃生成サービス

主にセキュリティ関連製品のデモンストレーションをお手伝いするサービスです。製品の操作感や実際の動きなどを、来場者に伝えるための擬似攻撃を提供します。
標準ドロップとは別のケーブルを利用します。最初の1本のケーブル分まで無料でご利用いただけます。2本以上必要な場合には、追加ドロップの料金が適用されます。料金はP3-46以降の料金表を参照してください。

このサービスの利用については、出展社と事務局、ならびにNOCチームの間で事前の綿密な確認が必要となります。本サービスのご利用をご希望の場合には、生成される攻撃の内容など詳細について、別途お問い合わせください(お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp)。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

追加ドロップ（接続ケーブル）　（有料）

このサービスは、デモンストレーション用に複数のShowNetに接続するケーブル（ドロップ）を追加することができます。追加できるドロップは以下の3種類です(※1)。

1. 100/1000Base-T（※2）
2. 1000Base-SX
3. 10GBase-LR（※2）

※1：パビリオンなどにご出展の場合には選択できません。
※2：接続距離などの技術的制約により、ご希望に添えない場合があります。
※コネクター形状などの詳細はP3-34以降を参照してください。
※追加ドロップに対するIPアドレスは標準ドロップに準じます。P3-6を参照してください。

ブース間接続

このサービスは、他のブースと接続したい場合にご利用いただけます。このサービスでは直接ShowNetには接続されません。ブースとブースの間のみ接続を行います。（※1）　なお、この申し込みには両端となる出展社からの手続きが必要です。接続先の出展社とよく調整のうえ、お手続きをお願いいたします。

1. UTPケーブル（カテゴリー5e / RJ45 オス-オス）　（有料）
2. 光ファイバケーブル（マルチモード SC - SC）　（有料）
3. VLAN接続　(tag:あり /MTU 9000byte)（※2）　（無料）

※1：接続するブースの位置やブース間の距離によってはご希望に添えない場合があります。
　　物理的なコネクター形状や必要な機器などの詳細はP3-34を参照してください。
※2：接続するそれぞれのブースの標準ドロップに多重化する形でご提供します。標準ドロップを両端にお申し込みいただいていない場合には利用できません。本サービスは無償で提供されます。このサービスの技術的詳細については、別途お問い合わせください（お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp）。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

A-4 ShowNet特別企画について

ShowNet特別企画　1
「Best of Show Award」
～ShowNetデモンストレーション部門～について

Interop Tokyo 2009では、多数の出展社がネットワークに関するさまざまな製品やソリューション、サービスを展示します。その中から今年のテーマにふさわしい、最も優れたものを決めるのが、“Best of Show Award”です。IT業界有識者による厳正な審査や、来場者の投票によって選ばれる製品･ソリューション･サービスは、まさに今年を代表する、新しいネットワーク環境を牽引していくにふさわしいものと言えるでしょう。
　選考結果は、展示会場とオフィシャルWebサイトで告知され、製品はもちろん受賞された出展社にとっても最適なプロモーションとなります。これまでも出展社の皆様から数多くのエントリーをいただき、高く評価していただいております。

「Best of Show Award」～ ShowNetデモンストレーション部門～は、ShowNetを利用、もしくは参加して最も注目に値するデモンストレーションを行った出展社に対して贈られる賞です。

ShowNetデモンストレーション部門にエントリーをご希望の場合は、本出展マニュアル巻末の申し込み書類5番のエントリーシートをご提出いただくか、「出展社専用サイト」からもエントリーすることができます。

“Best of Show Award”のShowNetデモンストレーション部門以外の部門についての詳細はP5-3をご参照ください。

ShowNetアワードエントリー申込書提出期限
5月22日(金)

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

ShowNet特別企画について

ShowNet特別企画 2
ShowNetにおけるIPv4枯渇に対する取り組み
『2010トライアル』について

1. 『2010トライアル』の背景
IPv4アドレスの枯渇問題が指摘されてから久しいですが、昨今のJPNICによる枯渇時期予測レポートを契機に、ますますこのIPv4アドレス枯渇問題に注目が集まっています。Interopでは1996年以来、この問題への対応策の一つとしてIPv6の展開に取り組んできました。

2. 『2010トライアル』の目的
ShowNetでは昨年に続き、下記を目的に『2010トライアル』を行います。
・IPv4枯渇時のIPv6移行のための技術・装置の調査検証
・IPv6展開のための技術・装置の調査検証
2010年頃といわれるIPv4アドレス枯渇前後のISPサービスを想定した現実的なサービスを行います 。現在のインターネットの状況を踏まえ、IPv6アドレスと共に、IPv4プライベートアドレスを利用したインターネット接続サービスが想定されています。このような接続サービスのために利用される大規模NAT装置のインターオペラビリティや利用者や運用者への影響、またIPv6展開のための技術・装置を調査検証することが目的になります。

3. 『2010トライアル』 のサービス
    1. プライベートIPv4アドレスの利用
    標準ドロップに対するIPアドレスタイプで「IPv6 ＋プライベート IPv4 」を選択した場合、または「簡易パッケージ」にて申し込みをした場合
    IPv6・・・グローバルアドレスを割り当てます。制限はありません。
    IPv4・・・プライベートアドレスを割り当てます。バックボーン内で、NAPT機能を利用するため、下記のような制限があり ます。
    ・正しく動作しないアプリケーションがあります（P2P、ネットワークゲームなど）。
    ・外部から開始された通信を受け付けられない場合があります。
    ・同時に多数のセッションを必要とするアプリケーションは制約があります。

    2. IPv6アドレスのみの利用
    標準ドロップに対するIPアドレスタイプでIPv6 のみ を選択した場合.
    IPv6・・・グローバルアドレスを割り当てます。制限はありません。

4. 『2010トライアル』 の利用特典
標準ドロップに対するIPアドレスタイプのうち「2010タイプ」を選択した場合には「2010トライアル参加ブース」として、オフィシャルwebサイトにロゴマークとブースの小間番号が掲示されるなどの特典があります。詳細は別途お問い合わせください（お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp）。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

B 申し込みをする/権利放棄をする 【4月22日まで】

出展社専用サイトへのログイン

ShowNetの接続に必要なすべてのお手続きは出展社専用サイトから行います。

1. 下記のURL にアクセスして、割り当てられたIDとPASSWORDを入力してログインしてください。
2. メニューから「ShowNet」のタブをクリックしてください。

出展社専用サイトのURL

https://ssl.cmptech.jp/in2009em

申し込み内容を選ぶ

1. **簡易パッケージを申し込む** → B-1
2. **項目を選択し申し込む** → B-2
3. **ブース間接続を申し込む** → B-3
4. **接続権利を放棄する** → B-4

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

B-1 簡易パッケージを申し込む

出展社専用サイトにアクセスして「ShowNet」のタブをクリックします。

申し込み方法の選択

ShowNet申し込み画面の「申込方法の選択」のチェックボックスで、「簡易申込」をチェックします。



STEP 1 基本情報の登録

1. ステップ1の「基本情報の登録」に現れる「新規」のボタンをクリックします。画面の指示にしたがって、運営事務局から出展社へのShowNetに関する技術的な事項の連絡先として、技術担当者の情報をご記入ください。
2. 必要な情報を入力したら、「次へ進む」ボタンをクリックします。
3. 確認画面が表示されますので、一番下までスクロールして、「ここまでの登録を保存する」をクリックします。
4. 「次のSTEPに進んでください」をクリックします。

4小間以上の規模でご出展の場合

STEP 2 に進む

4小間未満の規模でご出展の場合

STEP 3 に進む

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

簡易パッケージの申し込み

STEP 2

ドロップ位置の選択 (4小間以上の場合)

ブース内でのケーブルのドロップ位置を選択します。ドロップ位置については、ご希望にあわせて調整させていただきますが、ご希望に添えない場合があります。特に大きな小間でご出展の場合や、複雑な造作を予定されている場合には、詳細なドロップ位置を確認するために、後日、図面などの情報提供をお願いすることがあります。その際には、ご協力をお願いいたします。

1. 図を参照して、ドロップの希望位置を該当する数字で選択します。
2. 「次へ進む」をクリックします。
3. 確認画面で、「ここまでの登録を保存する」をクリックします。
4. 「このまま次のステップに進む」をクリックします。

STEP 3

申し込みの確認および登録

これまでの内容を確認して、申し込みを確定させます。

1. 確認画面で、申し込み内容を確認します。
2. 「登録する」をクリックします。
3. 出展担当者とSTEP1で登録した技術担当者宛に確認のメールが送信されます。

以上で事前の申し込み手続きは終了です。

5月21日以降 C のお手続きをおこなってください。

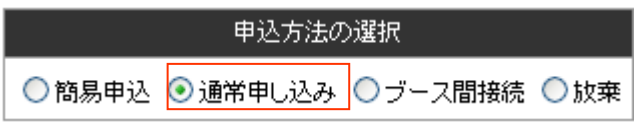
Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

B-2 項目を選択し申し込む

出展社専用サイトにアクセスして「ShowNet」のタブをクリックします。

申し込み方法の選択

ShowNet申し込み画面の「申込方法の選択」のチェックボックスで、「通常申し込み」をチェックします。



STEP 1 基本情報の登録

1. ステップ1の「基本情報の登録」に現れる「新規」のボタンをクリックします。画面の指示にしたがって、運営事務局から出展社へのShowNetに関する技術的な事項の連絡先として、技術担当者の情報をご記入ください。
2. 追加ドロップなど、有料のサービスを申し込む場合で、小間費用と請求先が異なる場合には、ご記入ください。
3. 必要な情報を入力したら、「次へ進む」ボタンをクリックします。
4. 確認画面が表示されますので、一番下までスクロールして、「ここまでの登録を保存する」をクリックします。
5. 「次のSTEPに進んでください」をクリックします。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

項目を選択し申し込む

STEP 2

標準/追加ドロップの選択

標準ドロップの選択と、追加ドロップの有無を選択します。

1. **標準ドロップの「メディアタイプ」を選択します。**

2. **標準ドロップの「IPアドレスのタイプ」を選択します。**

3. **必要な場合には標準ドロップに対する「追加サブネット」の個数を選択します。**

4. **サブドメイン名の登録を希望する場合には第3希望まで入力します。**

5. **「擬似攻撃生成サービス」の申し込みの有無を入力します。**

6. **追加ドロップの申し込みの有無を入力します。**

7. **「次に進む」をクリックします。**
   - **追加ドロップを申し込まない場合8に進む**
   - **追加ドロップを申し込んだ場合**

   追加ドロップを申し込んだ場合には、追加ドロップの「メディアタイプ」と、「IPアドレスタイプ」、さらに「追加サブネット」を選択し、「次へ」をクリックします。

8. **確認画面で、「ここまでの登録を保存する」をクリックします。**

9. **「このまま次のステップに進む」又は「ドロップ位置へ」をクリックします。**

4小間以上の規模でご出展の場合

STEP 3 **に進む**

4小間未満の規模でご出展の場合

STEP 4 **に進む**

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

項目を選択し申し込む

STEP 3

ドロップ位置の選択 (4小間以上の場合)

ブース内でのケーブルのドロップ位置を選択します。ドロップ位置については、ご希望にあわせて調整させていただきますが、ご希望に添えない場合があります。特に大きな小間でご出展の場合や、複雑な造作を予定されている場合には、詳細なドロップ位置を確認するために、後日、図面などの情報提供をお願いすることがあります。その際には、ご協力をお願いいたします。

1. 図を参照して、ドロップの希望位置を該当する数字で選択します。
2. 「次へ進む」をクリックします。
3. 確認画面で、「ここまでの登録を保存する」をクリックします。
4. 「このまま次のステップに進む」をクリックします。

STEP 4

申し込みの確認および登録

これまでの内容を確認して、申し込みを確定させます。

1. 確認画面で、申し込み内容を確認します。
2. 「登録する」をクリックします。
3. 出展担当者とSTEP1で登録した技術担当者宛に確認のメールが送信されます。

以上で事前の申し込み手続きは終了です。

5月21日以降 C の手続きをおこなってください。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

B-3 ブース間接続を申し込む

出展社専用サイトにアクセスして「ShowNet」のタブをクリックします。

申し込み方法の選択

ShowNet申し込み画面の「申込方法の選択」のチェックボックスで、「ブース間接続」をチェックします。



STEP 1 基本情報の登録

1. ステップ1の「基本情報の登録」に現れる「新規」のボタンをクリックします。画面の指示にしたがって、運営事務局から出展社へのShowNetに関する技術的な事項の連絡先として、技術担当者の情報をご記入ください。
2. ブース間接続の請求先が、小間費用の請求先と異なる場合には、ご記入ください。
3. 必要な情報を入力したら、「次へ進む」ボタンをクリックします。
4. 確認画面が表示されますので、一番下までスクロールして、「ここまでの登録を保存する」をクリックします。
5. 「次のSTEPに進んでください」をクリックします。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

ブース間接続を申し込む



接続先ブースの選択

ブース間接続の接続先の情報を入力します。

1. 「接続先のブース数」を入力して、「次へ進む」をクリックします。
2. 接続先のブース(出展社)を選択します。
3. 接続先それぞれの「接続タイプ」を選択します。
4. 「次に進む」をクリックします。
5. 確認画面で、「ここまでの登録を保存する」をクリックします。
6. 「このまま次のステップに進む」又は「ドロップ位置へ」をクリックします。

4小間以上の規模でご出展の場合



に進む

4小間未満の規模でご出展の場合



に進む

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

ブース間接続を申し込む

STEP 3

ドロップ位置の選択 (4小間以上の場合)

ブース内でのケーブルのドロップ位置を選択します。ドロップ位置については、ご希望にあわせて調整させていただきますが、ご希望に添えない場合があります。特に大きな小間でご出展の場合や、複雑な造作を予定されている場合には、詳細なドロップ位置を確認するために、後日、図面などの情報提供をお願いすることがあります。その際には、ご協力をお願いいたします。

1. 図を参照して、ドロップの希望位置を該当する数字で選択します。
2. 「次へ進む」をクリックします。
3. 確認画面で、「ここまでの登録を保存する」をクリックします。
4. 「このまま次のステップに進む」をクリックします。

STEP 4

申し込みの確認および登録

これまでの内容を確認して、申し込みを確定させます。

1. 確認画面で、申し込み内容を確認します。
2. 「登録する」をクリックします。
3. 出展担当者とSTEP1で登録した技術担当者宛に確認のメールが送信されます。

以上で事前の申し込み手続きは終了です。

6月8日以降 Ⓓ の手続きをおこなってください。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

B-4 接続権利を放棄する

出展申込書裏面記載の出展約款にも記載の通り、Interopの全出展社は、積極的にShowNetを利用した展示、及びデモンストレーションを行う権利及び義務があります。ただし、ShowNetに接続しても明らかに出展社にとってメリットが無い場合、出展社はShowNet接続権利放棄の手続きにより、ドロップケーブルの敷設権利を放棄することが出来ます。接続権利放棄を手続きするにあたっては、放棄の理由を明記することが必要条件となっています。接続権利放棄は口頭、e-mailでの申し込みはお受けできません。

まず、出展社専用サイトにアクセスして「ShowNet」のタブをクリックします。

申し込み方法の選択

ShowNet申し込み画面の「申込方法の選択」のチェックボックスで、「放棄」をチェックします。



STEP 1 放棄理由の登録

1. **ステップ1の「放棄理由の登録」に現れる「新規」のボタンをクリックします。**
2. **画面の指示にしたがって、 ShowNetに接続しない理由をご記入ください。**
3. **必要な情報を入力したら、「次へ進む」ボタンをクリックします。**
4. **確認画面が表示されますので、一番下までスクロールして、「ここまでの登録を保存する」をクリックします。**
5. **「次のSTEPに進んでください」をクリックします。**

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.



申し込みの確認および登録

これまでの内容を確認して、申し込みを確定させます。

1. 確認画面で、申し込み内容を確認します。
2. 「登録する」をクリックします。
3. 出展担当者とSTEP1で登録した技術担当者宛に確認のメールが送信されます。

以上で権利放棄の手続きは終了です。これ以降ShowNetに関するお手続きはありません。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

C

IPアドレスなどの情報を入手する　【5月21日以降】
接続情報を元にした各種登録を行う【5月29日まで】

出展社専用サイトへのログイン

ShowNetの接続に必要なすべてのお手続きは出展社専用サイトから行います。

1. 下記のURL にアクセスして、割り当てられたIDとPASSWORDを入力し、ログインしてください。
2. メニューから「ShowNet」のタブをクリックしてください。

出展社専用サイトのURL

https://ssl.cmptech.jp/in2009em

接続情報を元にした各種情報の確認と登録

1. **簡易パッケージ、またはブース間接続のみを申し込んだ場合** → この章でお手続きは必要ありません。
2. **割り当てられたIPアドレスなどを確認する場合** → C－1
3. **ShowNetのDNSにホスト名を登録する場合** → C－2
4. **DNSのゾーンを委譲する場合** → C－3
5. **追加サブネットを申し込んだ場合** → C－4
6. **パケットフィルタリングをカスタマイズする場合** → C－5

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

C-1 割り当てられたIPアドレスなどを確認する

5月21日以降、お申し込み内容に基づいて、接続に必要なIPアドレスなどの情報が割り当てられます。これら接続に必要な情報は、以下の手順で参照することができます。

STEP 1 ShowNet接続情報のページに移動する

1. **出展社専用サイトの「ShowNet」のタブの中にある、「ShowNet接続情報」のボタンをクリックします。**

STEP 2 IPアドレスなどの確認

1. **割り当てられたIPアドレス、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバ、VLAN IDなどのネットワークの接続に必要な情報が記載されています。確認した情報は会期終了までお手元で大切に保存してください。**



※：5月18日(月)以降にブース移動などがあった場合、IPアドレスなどの情報が変更になる場合があります。再度割り当て作業を行うため、お時間をいただく場合があります。ご了承ください。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

C-2 ShowNetのDNSにホスト名を登録する場合

ShowNetのDNSに持ち込む機器のホスト名を登録することができます。

なお、ゾーン単位で自ブースの DNS サーバに委譲を希望する場合には、P3-24を参照してください。

STEP 1 ShowNet接続情報のページに移動する

1. 出展社専用サイトの「ShowNet」のタブの中にある、「ShowNet接続情報」のボタンをクリックします。

STEP 2 ホスト名の登録

1. 接続情報ページの「DNS情報」項目にて、フォームにホスト名（と対応するIPアドレス）を入力してください。登録の必要なホストの数だけ繰り返し入力してください。(下記フォーム例は Interop Tokyo 2008 のものであり、DNS サーバのアドレスは変更される可能性があります)



Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

C-3 DNSのゾーンを委譲する場合

自ブースにおいて独自にDNSサーバを立ち上げ、割り当てられたサブドメインおよびサブネットに関する情報の管理を出展社側で行いたい場合は、以下の手順にしたがって登録を行います。

STEP 1 ShowNet接続情報のページに移動する

1. 出展社専用サイトの「ShowNet」のタブの中にある、「ShowNet接続情報」のボタンをクリックします。

STEP 2 DNSサーバの登録

1. 「ホスト名登録」の項目にて、自ブースの DNS サーバを登録した後に、「サブドメインの委譲」の項目にて、DNSサーバのホスト名を選択してください。



Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

C-4 追加サブネットを申し込んだ場合

接続申し込みの際にお申し込みいただいた追加サブネットのアドレスを使って、ブース外のネットワークとの通信を行う場合、以下の手順にしたがって登録を行います。
追加サブネットの技術的な詳細についてはP3-40を参照してください。

STEP 1 ShowNet接続情報のページに移動する

1. 出展社専用サイトの「ShowNet」のタブの中にある、「ShowNet接続情報」のボタンをクリックします。

STEP 2 追加サブネットの設定の登録

2. 「追加サブネット」の項目にてルーティングの設定を追加する必要があります。追加サブネットのアドレスに対して、持ち込まれるルータに割り振った標準サブネット上のアドレスを設定してください。この操作を繰り返して、ご使用になるすべての追加サブネットの設定を行ってください。



Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

C-5 パケットリフィルタリングをカスタマイズする場合

ShowNetのセキュリティには、パケットフィルタリングと攻撃トラフィック監視の二つがあります。パケットフィルタリングでは、攻撃に使用されているポートを遮断します。攻撃トラフィック監視では、ShowNetへの攻撃を監視します。
ShowNetのセキュリティについての詳細はP3-36を参照してください。パケットフィルタリングは、下記の手順にしたがって、フィルタリング内容をカスタマイズすることができます。
ShowNetで遮断しているパケットフィルタリングの内容が、ブースのデモンストレーション等に支障がある場合、下記の方法でカスタマイズしてください。ただし、遮断しているポートは攻撃に使用されているため、カスタマイズする場合は、事務局までお問い合わせください(お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp)。

STEP 1 ShowNet接続情報のページに移動する

出展社専用サイトの「ShowNet」のタブの中にある、「ShowNet接続情報」のボタンをクリックします。

STEP 2 パケットフィルタリングのカスタマイズ

「セキュリティ設定：フィルタリング・ルール」の項目に、あらかじめ設定されているフィルタルールが明記されています。ご確認ください。ただし、遮断しているポートは攻撃に使用されているため、カスタマイズする場合は、事務局までお問い合わせください(お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp)。**下記のフィルタ例は** Interop Tokyo 2008 **のものであり、**Interop Tokyo 2009 **では変更される可能性があります。**



セキュリティ設定：フィルタリング・ルール

割り当てられたアドレスブロックに対してフィルタリングルールを追加できます。

なお、あらかじめ下記のフィルタリングルールが適用されています。 あらかじめ適用されているフィルタリングルールを削除したい場合には、 追加ルール欄に「削除」と明記のうえ、削除したいフィルタリングルールをお書きください。

設定済みルール

src address	src port	dst address	dst port	protocol	action	comment
ANY	ANY	ANY	42	UDP/TCP	DENY	WINS
ANY	ANY	ANY	135	UDP/TCP	DENY	RPC
ANY	ANY	ANY	137	UDP/TCP	DENY	NetBIOS
ANY	ANY	ANY	138	UDP/TCP	DENY	NetBIOS
ANY	ANY	ANY	139	UDP/TCP	DENY	NetBIOS
ANY	ANY	ANY	445	UDP/TCP	DENY	SMB
ANY	ANY	ANY	1433	UDP/TCP	DENY	MS SQL
ANY	ANY	ANY	1434	UDP/TCP	DENY	MS SQL

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

D 機器やデモを準備して接続する　【準備から撤去まで】

機器やデモを準備して接続する

1. 事前の機器の準備 → D-1
2. 接続の依頼 → D-2
3. 設営中の注意事項 → D-3
4. トラブルシューティング → D-4
5. 撤去時の注意事項 → D-5

D-1 事前の機器の準備

1. 標準ドロップ、または追加ドロップで希望されたメディアにはそれぞれに対応したインターフェイスを持つ機器が必要です。ドロップケーブルのコネクタに接続する機器、ケーブル、コネクタなどは必ず各出展社でご用意ください。事務局からの機器の貸し出しはございません。

2. 出展社側で準備が必要な機器についての詳細はP3-34以降の接続形態図を参照してください。

3. ドロップの種類によっては、ブースに設置する機器を経由する場合があります。この場合には接続依頼の際にShowNet側から必要な機器の貸し出しがあります。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

D-2 接続の依頼

1. 設営当日、ShowNetへの接続準備ができましたら、NSC（ネットワーク・サービス・センター）までお越しください。NSCにて接続を依頼していただいた後、STM（ShowNet Team Member）が各ブースにお伺いしてケーブルの引渡し作業を行います。接続の形態についてはドロップの種類ごとに異なります。

2. ShowNetへの接続依頼は**以下の時間内に**必ずお済ませください。これ以降の接続依頼については、対応が大幅に遅れることがあります。
   接続依頼受付時間

6月8日(月)10:00 ～6月9日(火)15:00

D-3 設営中の注意事項

1. **ShowNetのケーブルが会場内に大量に配線してあります！ご注意ください！**

   ShowNetの配線はすべて展示フロアの地下ピットを使った床下配線になります。

   設営工事、もしくは各ブースに設置される看板などの装飾物がShowNetの運用を妨げたり、ShowNetで使用しているケーブルや機器などに損害を与えないように十分にご注意ください。

   万一、ShowNetの運用に障害が起こった場合には、修復に必要な相当額をご請求させていただきます。

2. **通路で配線修正作業などがある場合があります！通路の確保にご協力ください！**

   搬入、設営作業中にネットワークケーブルの位置調整や交換作業が行われる場合があります。
   展示装飾の搬入物、ゴミなどで通路などをふさがないでください。会期後の速やかな撤去作業を行うために、各種ケーブルを造作物などへの打ちつけやくくり付けるなど固定しないでください。また、高所作業車での作業などを行う場合には、ケーブルに十分ご注意ください。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

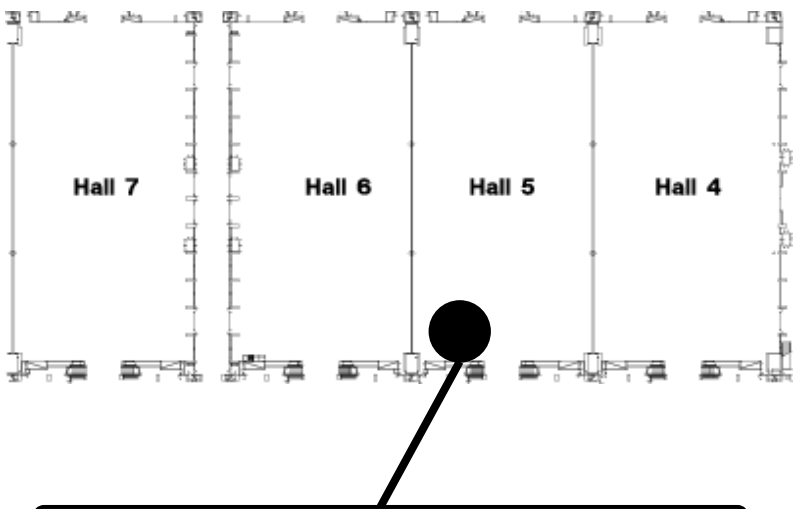
D-4 トラブルシューティング

NSC (ネットワーク・サービス・センター)

会場内数カ所に、NSCと呼ばれる、ShowNetと出展ブースの接続に伴う問題点を解決するためのカウンター (窓口) が設けられています。

ShowNetへの接続依頼もこのカウンターで受け付けています。

ShowNetとの接続などにトラブルが発生した場合には、NSCカウンターまでお越しください。ここで状況を伺い、必要に応じてブースにSTMを派遣するなどの対応をおこないます。



設置場所：ホール5　北側エスカレータ下

	NSCカウンタ
6月8日(月)	8:00～18:00
6月9日 (火)	8:00～18:00
6月10日 (水)	8:00～18:00
6月11日 (木)	8:00～18:00
6月12日 (金)	8:00～17:00

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

D-5 撤去時の注意事項

1.テールアップ作業について

展示会終了後、STMがネットワークケーブルの撤去**（**テールアップ作業**）と、ShowNetのドロップを接続するために使用した貸出機器等のある場合には回収に伺います。**

2.貸し出し機器の回収

貸し出し機器がある場合は、機器と引き替えに借用書を返却いたします。貸し出し機器については、会期終了後STMが回収にブースまで伺います。その際にはご協力をお願いいたします。貸し出し機器の紛失や損壊があった場合には、後日実費代金を請求させていただきます。機器の取り扱いには十分にご注意ください。

3.ShowNetのケーブルが会場内に大量に配線してあります！ご注意ください！

撤去の際にケーブルが造作物などに固定されていたなどの理由でケーブルを切断したり、損壊した場合には後日実費料金を請求させていただきます。ケーブルの取り扱いには十分にご注意ください。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

ShowNet テクニカルマニュアル

このShowNetテクニカルマニュアルでは、ShowNetをデモンストレーションに活用する上で必要な技術的内容について、記載してあります。一読いただき、ブースでのデモンストレーションにお役立てください。

なお、本マニュアルに記載の内容は、2月6日現在のものです。特殊なデモンストレーションを行う場合や、その他ご質問があれば、是非事務局までお問い合わせください（お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp）。

E 接続メディアの詳細

F セキュリティサービスの詳細

G プロトコルやIPアドレスなどの詳細

H その他の注意事項と注意すべきデモンストレーション

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

E 接続メディアの詳細

接続メディアの詳細

1.標準・追加ドロップの接続形態 → E-1
2.ブース間接続の接続形態 → E-2
3.接続図 → E-3

E-1 標準・追加ドロップの接続形態

ShowNetから出展社への接続は、各ホールの地下ピットを経由して、「ドロップ」と呼ばれるケーブルで行います。出展社は、以下の接続形態のうち、いずれか一つのドロップをお選びいただき、無償でご利用いただけます。これらドロップの接続イメージは、P3-34を参照してください。追加ドロップについても接続形態の選択肢は同じです。

ドロップケーブルの論理的な接続形態（メディアタイプ）は以下の3つです。（※1）

1. 100/1000Base-T（UTPカテゴリー5e / RJ-45コネクタ / ストレート）（※2）
2. 1000Base-SX（マルチモード光ファイバ / SCコネクタ）
3. 10GBase-LR（シングルモード光ファイバ / SCコネクタ）（※2）

※1：各パビリオンにご出展の場合には、10/100Base-TXのご提供となる場合があります。
※2：接続距離などの技術的制約により、ご希望に添えない場合があります。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

E-2 ブース間接続の接続形態

ShowNetでは、他のブースと接続したい場合にご利用いただけるブース間接続を追加のサービスとして提供します。このサービスでは直接ShowNetには接続されません。ブースとブースの間のみ接続を行います。 なお、この申し込みには両端となる出展社からの手続きが必要です。接続先の出展社とよく調整のうえ、お手続きをお願いいたします。

1. UTPケーブル（カテゴリー5e / RJ45 オス-オス）
2. 光ファイバケーブル（マルチモード SC - SC）
3. VLAN接続 （tag:あり）

ブース間接続には以下のような制約があります。

1. この申し込みには両端となる出展社からの手続きが必要です。接続先の出展社とよく調整のうえ、お手続きをお願いいたします。

2. 接続するブースの位置やブース間の距離によってはご希望に添えない場合があります。

3. 光ファイバケーブルによるブース間接続で利用する光ファイバは、マルチモードのみとなります。シングルモードファイバでの接続は提供しておりません。

4. VLAN接続は、IEEE802.1q VLAN技術を利用して標準ドロップに多重化する形で提供します。標準ドロップを両端にお申し込みいただいていない場合には利用できません。VLAN接続のサービスは無償で提供します。

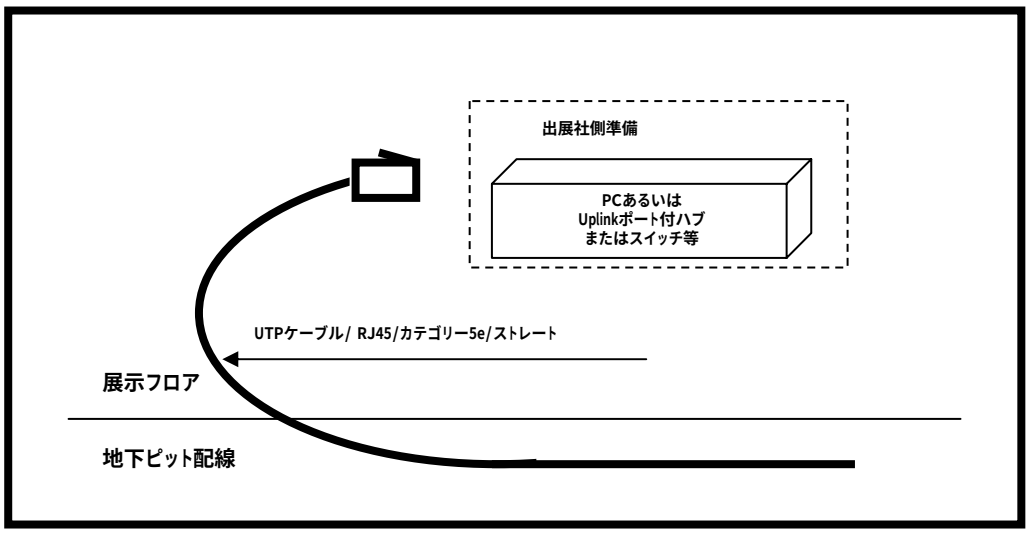
5. VLAN接続の技術的な仕様は以下の通りです。
   - Tag： あり（110～1023のあいだの値を使用します）
   - メディアタイプ： 標準ドロップで指定していただいたメディアになります。
   - 標準ドロップに付随したサブネットにもVLAN tagが設定されます。VLAN IDは5月21日以降、出展社専用サイトにてご確認いただけます。詳細はP3-22を参照してください。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

E-3 接続図

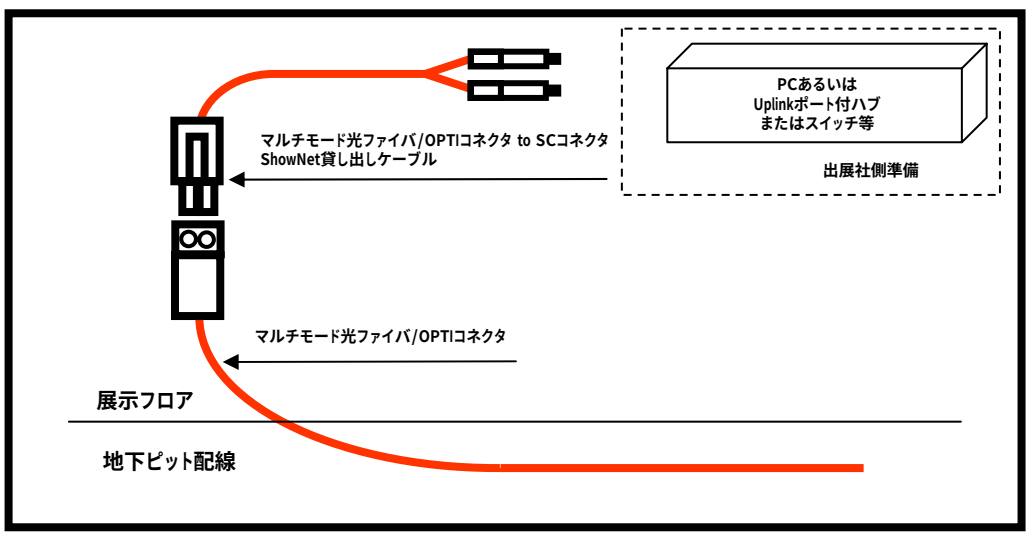
ここでは、出展社ブースに対して提供されるドロップの提供形態を以下に示します。

1. 100/1000Base-T



※コネクタ形状はRJ45 オスコネクタとなります。

2. 1000Base-SX

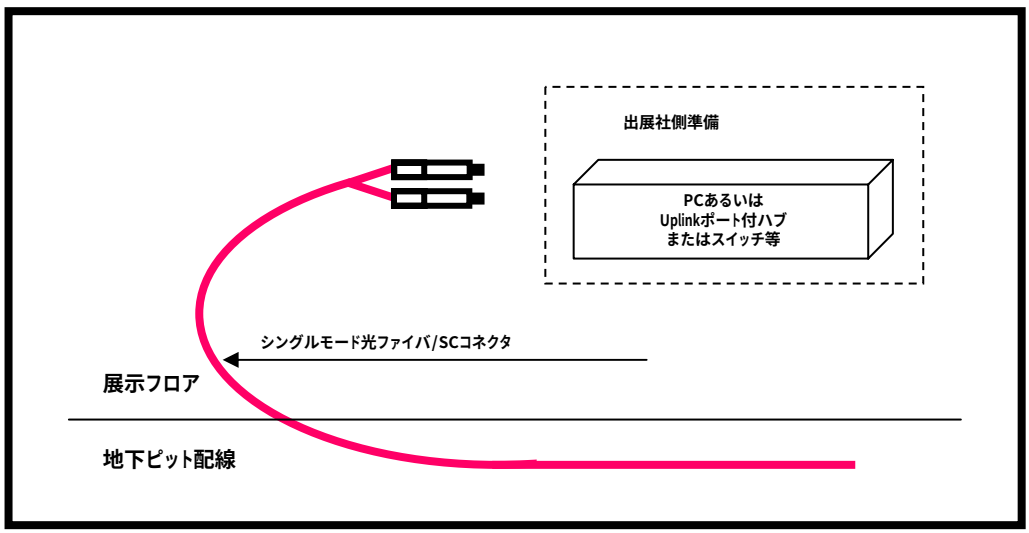


※コネクタ形状はSCコネクタとなります。
※LCコネクタでの提供ではありませんのでご注意ください。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

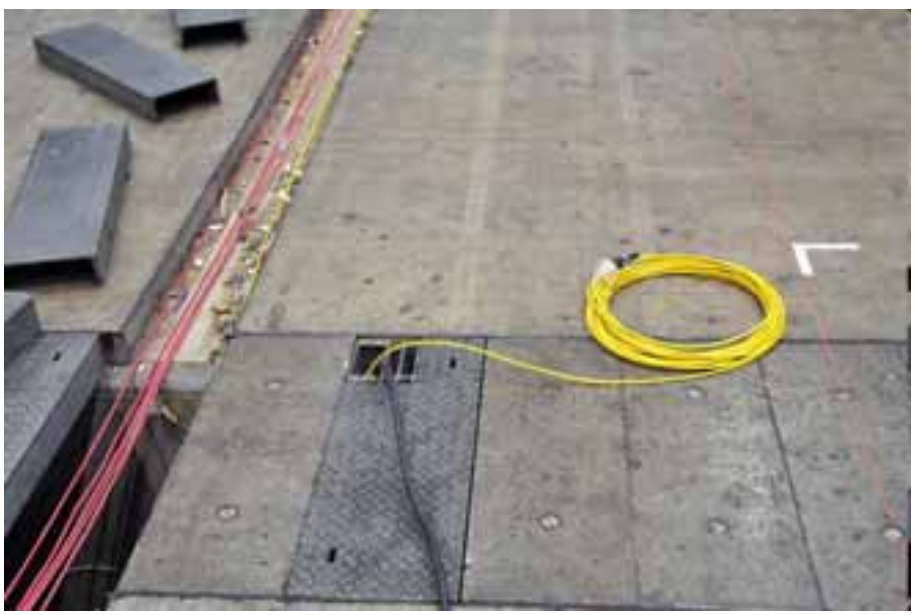
接続図

3. 10GBase-LR



※コネクタ形状はSCコネクタとなります。
※LCコネクタでの提供ではありませんのでご注意ください。

4.ケーブルの受け渡し時のイメージ



Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

F ShowNetのセキュリティ仕様

ShowNetのセキュリティ仕様

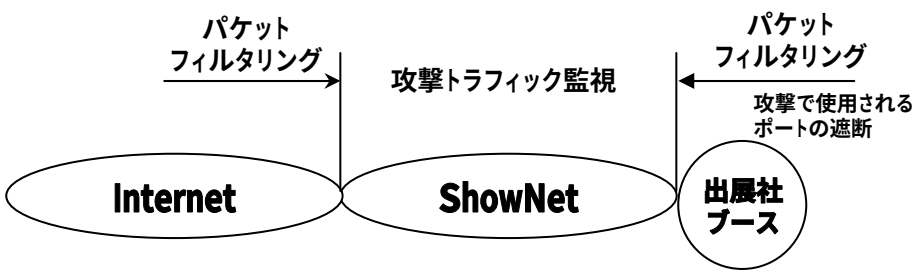
1.ShowNetのセキュリティ概要 → F-1
2.パケットフィルタリング → F-2
3.攻撃トラフィック監視 → F-3
4.パケットフィルタリングのカスタマイズについて → F-4

F-1 ShowNetのセキュリティ概要

ShowNetでは、インターネットへの接続性を提供するだけでなく、接続における安全性も同時に提供することを目指し、下記のオペレーションを行っています。

1. パケットフィルタリング
2. 攻撃トラフィック監視

これらのオペレーションは、すべてのドロップに対して標準で行われます。提供するオペレーション（特にパケットフィルタリング）が、ブースのデモンストレーション等に支障のある場合には、出展社専用サイトにて、カスタマイズが可能です。ただし、接続における安全性を損なう可能性がありますので、事務局までお問い合わせください。（お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp）



ShowNetのセキュリティ概要イメージ

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

F-2 パケットフィルタリング

攻撃で使用されているパケットを遮断するオペレーションです。

ShowNetでは、安全性の高いインターネット接続を目指し、攻撃で使用されているポートを一律に遮断する取り組みを行っています。
このオペレーションは、すべてのドロップに対して標準で行われます。下記のパケットフィルタリングされたポートを使用して、ブースでデモンストレーションを行う場合、パケットフィルタリングのカスタマイズが可能です。ただし、遮断しているポートは攻撃に使用されているため、カスタマイズする場合は事務局までお問い合わせください（お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp）

標準でフィルタリングしているポートは以下の通りです。

ポートNo.	プロトコル	アプリケーション名	対策内容
42	UDP/TCP	WINS	WINSの脆弱性
135	UDP/TCP	DCE	Blaster等
137	UDP/TCP	NetBIOS	Blaster等
138	UDP/TCP	NetBIOS	Blaster等
139	UDP/TCP	NetBIOS	Blaster等
445	UDP/TCP	Microsoft-DS Acrive Directory / Microsoft-DS SMB	Sasser / Downadup(Conficker)
1433	TCP	Microsoft SQL Server	Slammer
1434	UDP	Microsoft SQL Server	Slammer

この情報は2月6日(金)現在のものであり、以降新たな脅威が発見された場合、遮断するポートは増加することがあります。5月21日(木)以降、最新の情報は出展社専用サイトにてご確認いただけます。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

F-3 攻撃トラフィック監視

ShowNetへの攻撃トラフィックを監視するオペレーションです。

このオペレーションは、ShowNetに接続するすべてのドロップに対して標準で行われます。ブースからShowNetへの攻撃が確認された場合は、必要に応じて登録された技術担当者様にご連絡することがあます。また、ShowNetへの攻撃が他の出展社等に影響を与える場合は、ブースのインターネット接続を停止する場合があります。

F-4 パケットフィルタリングのカスタマイズについて

上記ShowNetのセキュリティのうち、パケットフィルタリングのカスタマイズは、出展社専用サイト内のShowNetのタブをクリックすると表示される、「ShowNet接続情報」のページで行うことが可能です。カスタマイズの手続きの詳細はP3-26を参照してください。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

G プロトコルやIPアドレスなどの詳細

1. IPアドレスの割り当てについて → G-1
2. サポートするプロトコル → G-2
3. 追加サブネットのルーティング → G-3
4. DNS、DHCPなどのサービスについて → G-4

G-1 IPアドレスの割り当てについて

1. 標準ドロップおよび追加ドロップには、インターネットに接続できるアドレス空間が、ドロップごとに独立して割り当てられます。

2. インターネットに接続できるアドレス空間は、グローバルIPv4に関しては45.0.0.0/8内のクラスC相当(/24)、IPv6に関しては2001:3e8::/32内の/64、プライベートIPv4アドレスに関しては10.0.0.0/8内のクラスC相当(/24)となります。このアドレス空間を標準サブネットと呼びます。

3. 出展社側でご利用いただけるのはグローバルIPv4標準サブネットの場合には45.xx.xx.10～254、プライベートIPv4標準サブネットの場合には10.xx.xx.10～254の245個です。なお、**最下位オクテットが1～9のIPv4アドレスはShowNet管理用として予約されておりますので、ご使用いただけません。**

4. IPv6に関してはRA(Router Advertisement)によって、プレフィックスとデフォルト･ゲートウェイの情報を提供します。

5. 標準サブネットのほかにアドレス空間が必要な場合は、追加サブネットを割り当てることができます。その際には、ひとつの追加サブネットごとにクラスC相当(/24)のIPv4アドレス空間と、/64のIPv6アドレス空間が割り当てられます。なお、追加サブネットをご利用いただく際には、同時にルーティングの設定手続きが必要となりますので、ご注意ください。又、追加サブネットはDHCPによるアドレス割り当てをご利用いただけませんのでご注意ください。

6. **ShowNetで使っているIPアドレスは海外のInteropと同じものを利用しているため、**国内限定コンテンツを利用したデモンストレーションをご希望の場合には事前にご相談ください。
（お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp）

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

G-2 サポートするプロトコル

ShowNetでご提供する標準ドロップ、および、追加ドロップでは、IPv4/IPv6がご利用いただけます。IPX/SPX、Apple Talk等その他のプロトコルに関してはサポートしておりませんので、あらかじめご了承ください。

G-3 追加サブネットのルーティングについて

別途申請いただいた追加サブネット(1)は、割り当て時はルーティングの設定がされていません。追加サブネットのアドレスを使って、ブース外のネットワークとの通信を行う場合には、出展社専用サイトからルーティングの設定を追加する必要があります。追加サブネットのアドレスに対して、持ち込まれるルータに割り振った標準サブネット上のアドレス(2)を設定してください。この操作を繰り返して、ご使用になるすべての追加サブネットの設定を行ってください。
(下記の例でいうところの (1) 45.10.20.0/24, 45.10.30.0/24、(2)45.10.10.10 が該当します。)

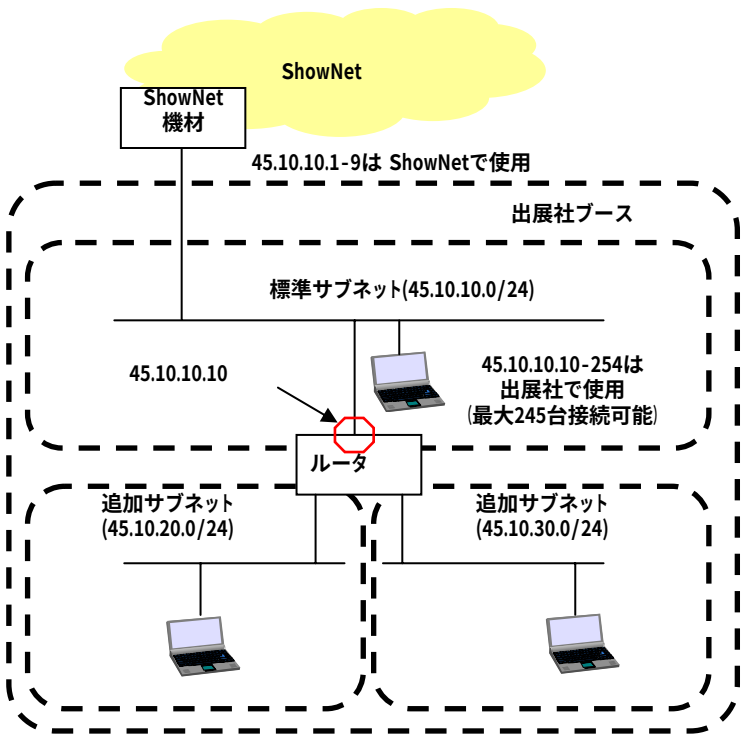


図 追加サブネットのルーティングの設定例

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

G-4 DNS、DHCPなどのサービス

IPv4アドレスのDHCP(動的アドレス割り当て)について

1. IPアドレスの選択の際にstaticを選択した場合、IPv4でのDHCPによる動的なアドレス割り当ては行いません。

2. DHCPでの自動割り当ては追加サブネットには適用されません。

3. DHCPのサービスで割り当てられるアドレスレンジは最下位オクテットが193～254となり、グローバルIPv4アドレスの場合には、45.xx.xx.193～254となります。プライベートIPv4アドレスの場合には、10.xx.xx.193～254となります。

4. IPv6アドレスのDHCPサービスについては、ご希望の場合には別途お問い合わせください。 (お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp)

DNSについて

1. ブースに持ち込む端末のホスト名をShowNetのDNSに登録できます。必要なお手続きにつきましてはP3-23を参照してください。

2. 自社ブースで独自にDNSを構築し、自社ブース内のネットワークを管理していただくこともできます。必要なお手続きにつきましてはP3-24を参照してください。

3. IPv6のDNS登録については、別途お問い合わせください。
(お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp)

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

H

その他の注意事項

その他の注意事項

セキュリティについての注意事項

1. 各種セキュリティ対策を出展社側で行わない場合、インターネットからの攻撃を受ける可能性があります。**ShowNetに接続するすべての機器には必ずセキュリティに関する対策を講じてください。**特にレンタルPCなどは、セキュリティへの対策がなされていないことがあります。必ずセキュリティパッチ適用やウイルス対策ソフトの導入など、セキュリティ対策を安全な環境で行ってから、ShowNetに接続してください。
2. 万一、**出展社にて接続された機器により、ShowNetの運用に支障をきたす、あるいは外部への攻撃が検出されるなどの事態が発生した場合、出展社側の認識の有無に関わらず、ShowNetへの接続を即時遮断するなどの対処をする場合があります。** このような場合、障害の原因を特定し、問題のある機器のネットワークからの隔離、復旧という手順を踏まない限り、ネットワーク接続の遮断は解除されません。
3. また、障害が発生する恐れがあると判断した場合、ShowNet側より対策を講じていただくように出展社にお願いする場合があります。最大限のご協力をお願いいたします。

無線LANの利用についての注意事項

1. **同一エリア内で多数の無線LAN機器が利用されている場合には、電波の干渉などさまざまな問題が発生する可能性があります。**
2. 無線LANを利用した場合、会場内の状況によっては、確実なデモンストレーションが保証されません。このような問題は事前準備、設営の段階で同じ状況を確認できない可能性があることもご理解いただき、必ず有線でのバックアップ手段をご準備いただくなどの対策をお願いいたします。
3. 無線LANをShowNetに接続される場合には、下記に挙げる例のようなセキュリティ対策を必ず行ってください。 万一無線を通じて第三者に侵入され、悪用された場合、他の出展社に影響が及ぶ場合がございます。

   無線LANに関するセキュリティ対策の例

   1. MACアドレスによるアクセス制限
   2. WPAによるアクセス制限　など

   なお、従来からよく利用されてきたＷＥＰキーによる暗号化はいくつかの脆弱性が指摘されています。このため、WEPキー以外、上記1,2による対策などをお勧めいたします。
4. 電波衝突などを最小限にするためにも、**ブース関係者用のメール確認用途など、来場者を意識したデモンストレーションに直接関係ないものに無線LANを利用することはご遠慮ください。**

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

その他の注意事項

マルチキャストの利用についての注意事項

出展ブースからマルチキャスト配信のデモンストレーションなどを行う場合は、事前に事務局へご相談ください。（お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp）

国内限定コンテンツの利用などについての注意事項

ShowNetで利用しているIPv4グローバルアドレスは国内のアドレスとして利用できません。
一部国内サイトのドメイン規制などにより、ShowNetからアクセスできない場合があります。
国内限定コンテンツを利用したデモンストレーションご希望の場合には事前に事務局へご相談ください。
（お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp）

SNMPによるShowNet機器のデータ取得

ShowNetを構成している多くの機器では、SNMP(Simple Network Management Protocol)サービスを提供しています。SNMP経由で稼働中の機器の情報を取得すれば、ShowNetの生きたデータをデモンストレーションに利用することができます。SNMPによるShowNetの情報取得をご希望の方は、事務局までお問い合わせください（お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp）。ただし、デモンストレーションの内容や、ShowNet側の都合により、このサービスはご利用になれない場合もあります。予めご了承ください。

その他特殊なデモンストレーションを予定している場合

上記注意事項以外でも、**出展ブース内で特殊なデモンストレーションを行う場合には、事前に事務局へご相談ください。**（お問い合わせ先e-mail: netserv09@cmptech.jp）

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

付録

I ShowNetとは？
J 価格表
K 良くあるお問い合わせ
L お問い合わせ先

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

ShowNetとは？

ShowNetとは？

Interop Tokyoでは、会場内に「ShowNet」と呼ばれるネットワークを構築しています。ShowNetは先進的なネットワーク技術を相互に接続することで実現している次世代ネットワークの構築プロジェクトであるとともに、**出展社のみなさまにインターネットへの接続性を提供し、より効果的なデモンストレーションを行うためのインフラストラクチャーでもあります。**

Interop Tokyoのすべての出展社は、**ShowNetが提供するネットワークを無償でご利用いただけます(追加のサービスは一部有料)。**すなわち、みなさまのブースを次世代のネットワークの一部とすることが可能です。みなさまの展示を、より効果的で先進的なものにするためにも、ShowNetの利用を強くお勧めします。

ShowNetは、テーマをもって構築されています。ネットワーク技術は日々進化していますから、毎年それにあわせたテーマを選んでいます。
今年のShowNetでは、サーバーやネットワークの仮想化などによるクラウドコンピューティングの波、IPv4アドレスの枯渇とIPv6への移行、地球環境への配慮など、まさに大きな変革に向けての変革を、実際に稼動するモデルネットワークとしてお見せします。

ShowNetは以下の3つの要素によって実現しています。

1.「NOC (Network Operation Center) チーム」
「NOCチーム」は主催者であるInterop実行委員会によって招聘された、最高の技術と経験を持つ技術者によって構成されたボランティア組織です。このNOCチームのメンバーのリーダーシップによってShowNetは設計・構築・運用されています。

2.「ShowNet Sponsorship Program」
ShowNetを構築するほとんどすべての機器・製品は、このプログラムに基づいて、国内外の企業・団体のご協力により借り受けているものです。このプログラムによって最先端のネットワーク機器やサービスを提供する人材・スペシャリストが一同に会しています。（このプログラムについての詳細は、4-1ページ以降をご参照ください。）

3.「STM (ShowNet Team Member) プログラム」
NOCチームの指導のもと、ShowNet構築作業のサポートや会期中のトラブルシュートなどを行うメンバーをSTMと呼びます。このSTMはSTMプログラムによって公募され、選出されるボランティアメンバーです。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

J

価格表

追加ドロップ価格表

追加ドロップ	価格 (4月22日(水)までの申し込み)	価格 (締め切り以降の申し込み)
100/1000Base-T (UTPカテゴリー5e/ RJ-45オスコネクタ / ストレート)	\75,000 (税別)	\100,000 (税別)
1000Base-SX (マルチモード光ファイバ/SCコネクタ)	\150,000 (税別)	\200,000 (税別)
10GBase-LR (シングルモード光ファイバ/SCコネクタ)	\150,000 (税別)	\200,000 (税別)

※上記料金には消費税は含まれません。別途消費税がかかります。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

ブース間接続価格表

	ブース間配線接続	価格 片端点分 (4月22日(水)までの申し込み)	価格 片端点分 (締め切り以降の申し込み)
1	**UTPケーブル** (UTPカテゴリー5e / RJ-45オスコネタ / ストレート)	\75,000 (税別)	\100,000 (税別)
2	**マルチモード光ファイバ** (マルチモード光ファイバ/SCコネクタ) (同モール内の接続)	\150,000 (税別)	\200,000 (税別)
3	**モール間追加料金** (光ファイバのブース間接続を申し込んだ場合で、モール間をまたぐ場合には、左記の料金がモール間をまたぐごとに上記2の料金に加算されます。)	\75,000 (税別)	\100,000 (税別)

1. **料金表は片端点の料金です。両端となる出展社にそれぞれに課金されます。**
2. **この申し込みは両端から申し込みがそれぞれ提出されなければ無効となります。**
3. 各種ケーブルにはご用意できる数に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。
4. ブース間接続が光ファイバでモール(※)をまたぐような接続の場合は追加料金が通常のモール内での接続料金に追加されます。
   (※モール:6,7ホール間)
5. **UTPケーブルはモールをまたぐ接続はできません。**
6. 上記料金には消費税は含まれません。別途消費税がかかります。
7. VLAN接続によるブース間接続については無償で提供されます。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

K よくあるお問い合わせ

Q1.
ShowNetとはなんですか？
A1.
会場内にネットワークを構築するプロジェクトです。Interopの出展社は基本的な接続を無償で利用することができ、デモンストレーションの訴求力をより高めることが可能です。ShowNetの成り立ちなどについての**詳細はP3-45**を参照してください。

Q2.
ShowNetを使わないのに手続きが必要なのですか？
A2.
はい。パビリオン/ShowCaseにご出展の場合以外は、出展約款にも記載がありますが、Interopではすべての出展社が積極的にShowNetを利用した展示、及びデモンストレーションを行っていただくことになっています。ただしShowNetに接続しても明らかにメリットが無い場合、ShowNet接続権利放棄の手続きをしていただくことで、この権利を放棄することが出来るようになっています。**接続権利の放棄の手続きについてはP3-19**を参照してください。

Q3.
割り振られたIPアドレスやゲートウェイ、DNSの情報などはどこで、いつ入手できますか？
A3.
期日までにお申し込みいただいた場合には、5月21日(木)以降、出展社専用サイトにて各種情報をご確認いただけるようになります。**接続に必要な情報の入手などについてはP3-21**を参照してください。

Q4.
IPv6はサポートされていますか？
A4.
はい、ShowNetでは、標準でIPv4、IPv6をサポートしています。**利用できるプロトコルなどはP3-39**を参照してください。

Q5.
割り振られるIPv4アドレスはグローバルアドレスなのですか？
A5.
はい、ShowNetで使用するIPv4アドレスはグローバルアドレス45.0.0.0/8内から割り振られます。ただし『2010トライアル』で提供されるIPアドレスタイプを選択した場合は、プライベートIPv4アドレス10.0.0.0/8内から割り振られます。ShowNetの**IPアドレスについての詳細はP3-39**を参照してください。

Q6.
ShowNetのセキュリティ仕様はどのようなものですか？
A6.
ShowNetでは、インターネット接続における安全性も併せて提供することを目指し、パケットフィルタリングと攻撃トラフィック監視の二つのオペレーションを行っています。
このオペレーションのうち、パケットフィルタリングが、ブースのデモンストレーションに支障のある場合には、各出展社でカスタマイズが可能です。**ShowNetのセキュリティについての詳細はP3-36**を参照してください。

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.

L ShowNetに関するお問い合わせ先

お問い合わせは各担当から速やかに回答できるようにできるだけe-mailでお願いいたします。

ShowNetを効果的に利用する方法や、接続方法についてわからないことがありましたらお気軽にご相談ください。

共通お問い合わせe-mailアドレス
netserv09@cmptech.jp

Interop Tokyo 2009事務局
ShowNet担当

ＣＭＰテクノロジージャパン株式会社
鈴木 / 千葉
TEL:03-5207-3206
FAX:03-5207-3250

飯田電機工業株式会社
イベント事業本部　岡野 / 亀坂

Copyright © 2009 CMP Technology Japan Co., Ltd. All rights reserved.